東北経済産業局

「アントレプレナーシップ教育プログラムの普及に関する東北的モデル検討調査報告書」 (H13 年度)

(15) 起業家教育センター「アントレの木」、「夢ナビゲーション」、「バーチャル・カンパニー」

「アントレの木」

教育の対象者

主に中学生~高校生(小学校高学年や高等教育機関でも利用可能)

教育の実施者

各学校の担当教員

教育プログラムの企画者

京都リサーチパーク(株)

京都市、地元産業界や教育界などで構成される「起業家精神涵養環境整備事業推進委員会」(略称:アントレ委員会)(1999年4月~2001年3月)の支援体制のもと、京都リサーチパーク(株)、(財)京都高度技術研究所(ASTEM)、(株)京都ソフトアプリケーション(KYSA)の3社が中心となって起業家教育を推進。この活動を受けて、1999年4月に京都リサーチパーク内に起業家教育センターが設立された。教材の実質的な開発・普及活動はこの起業家教育センターにて実施。2001年3月に委員会が閉会後は、京都リサーチパーク(株)が運営。

教育プログラム企画の背景・経緯

経済産業省平成 11 年度起業家精神涵養教材等開発普及事業の一環として開発。

教育プログラムの学習指導要領における位置づけ

「総合的な学習の時間」、情報教育、進路指導、社会、国語、学級活動、課題研究な どの時間に

教育プログラムの目標

アントレプレナー精神を持ち、職業を通じて自己実現でき、社会を変革し、地域社会や地元経済に貢献できる人材の育成

教育プログラムの目的

生活の不便さや身の回りの問題を解決してくれるような商品やサービスを開発し、 消費者に提供してくれた人が起業家であることを知る。

起業家を通して、進路や職業の多様性、人間関係構築スキルや問題解決能力の大切 さなどを認識する。そして、急速に変化する社会で必要とされている技能や人生へ の取り組みの姿勢、仕事を通して自己実現する喜びを知り、好きな分野で仕事をし ていくためにはどうしたらよいのか考えさせる。

商品開発というグループ活動を通して、発想力・創造力・決断力・判断力・チーム ワーク力・表現力・コミュニケーション力・問題解決能力・チャレンジ精神などを 翌得する

自ら考え、学び、行動に移す方法を習得する。

教育プログラムの内容

実施期間・回数・頻度・延べ時間

- ・教材の活用時間は学校によって様々。6~8回で数単元のみ抜粋して実施する学校 や、週1回1年間活用している学校もある。教材を導入した学校側のねらいに応じ て必要な時間は担当教員が決定する。
- ・本教材は、教材開発時に2000年1月~3月にかけて、京都教育大学教育学部付属京都中学校にて試験的に導入。この学校では、アントレプレナーシップ教育が総合の「生き方」学習の大きな柱のひとつとして1年~3年まで設置されており、「アントレの木」は今年で導入3年目になる。主として2年生の3学期に利用されている。

実施場所

・教育機関での導入の際は、その機関の教室内で、または課外活動として他の場所で。

東北経済産業局

「アントレプレナーシップ教育プログラムの普及に関する東北的モデル検討調査報告書」 (H13 年度)

いずれの場合も、インターネットに常時接続できるパソコンがグループに 1 台はあることが理想。

対象者の人数規模

・規模は問わない。ただし、グループ活動が中心であるので、必ず3人~6人ほどの チームに別れて課題解決に取り組む。

教材の概要

・教材は8単元から構成されており、付録のCD-Romやインターネットを使って生 徒の主体的な活動を支援するために、提示された課題の解決方法を、まず、個人で考 え、次にグループで議論、活動、発表という形式をとっている。

<単元構成>

単元	指導テーマ	学習内容
1	アイデアが一杯	商品をその発想の部分からみることからビジネスへと 展開させるための動機付けの部分
2	この問題解決できるかな?	問題解決がビジネスチャンスにつながることを学ぶ
3	やりたいことを仕事にした人 達	起業家って何? 起業家のイメージづくり
4	こんな商品が欲しい!	自分達が欲しい新しい製品またはサービスを考えさせる 起業家的発想の第一歩
5	チャンスをビジネスに!	本当に皆に必要とされているアイデアか再度確認
6	市場調査をやってみよう	実際に校外にでて市場調査を行う
7	ビジネスプランに挑戦!	アイデアをプレゼンテーション用に企画書としてまとめる
8	自分を発見 聞いて私の 夢!	自分の好きなこと興味のあることで仕事をしていくた めにはどうしたらよいか考えさせる

< C D - R o m構成 >

集まれ起業家の卵

ワークブックと同じ内容が収録されている。自分達が選択した課題に取り組み、その 回答を自由に書き込み、パソコンでプリントアウトして提出できるようになっている。 各単元の始めには,学習テーマ・学習内容・学習のねらいが,単元の終わりには,生 徒自身が学習評価を行える自己評価欄が用意されている。

ベンチャーアドベンチャー

日本を代表する起業家 7 名の学生時代の思い出、会社を設立するにいたった経緯、失敗や苦労談、人生のモットー、若い人へ向けてのコメントなどを本人のビデオ映像クリップと一緒に紹介。会社や商品・サービスの内容なども記されており、生徒が個人で調べ学習しやすいように構成されている。

ゆかいな発想

商品開発に関わるクイズが 20 問あり、身の回りにある製品やサービスが生まれた経緯について,起業家達の問題解決方法等をいれながら、生徒が授業で学ぶ事の動機付けになるような設定になっている。

教師がその日の授業の導入(学習内容とねらいの説明)から入り、課題を個人 グループで実施 発表 自己評価という形式をとる。

レッツチャレンジのクイズや自己評価はすべての質問に回答させるのではなく、担当

東北経済産業局

「アントレプレナーシップ教育プログラムの普及に関する東北的モデル検討調査報告書」 (H13 年度)

教師が必要と思ったところのみを実施。

講師

・学校の教員が指導し、そこに外部の企業人が参加する。

使用教材

・CD-Rom付の生徒用ワークブックを1人1冊で使用。

教育プログラム実施にかかる事業費

教材費:生徒用ワークブック(CD-Rom付); 1,800円×生徒の人数分

指導者用マニュアル;1,000円

教育プログラムの効果

2000 年 1 月~3 月にかけて、京都教育大学教育学部付属京都中学校にて試験的に導入した際のアンケート結果によると、本教材を活用した授業を受けて、72%の生徒が会社を興すことや商売の仕組みを理解し、69%が会社を興したり、商売をやってみたりすることに「自分もやってみたい」あるいは「なんとなくおもしろそう」と回答している。そして、14%の生徒が自分も将来商売をやってみたいと答えている。10 人のうち、1.5 人の生徒が将来自分で商売をやることを職業の選択肢に加えたことになる。

教育プログラム実施にあたっての課題

起業家教育への理解促進:教育現場の先生に起業家教育の本来の意義を理解してもらう必要がある。起業家教育は新しいことにチャレンジしていくための精神を培うもので、商売ゴッコをして社長を育成するための教育ではない。

学校への教材販売ルート:起業家教育事業に関わる団体の多くは少ないスタッフで活動するベンチャー企業であり、開発した教材を学校で活用してもらうための流通ルートづくりに苦労している。学校に教材を入れていくという意味では、教科教育の教材を開発している大手には太刀打ちできない。このあたりを経済産業省でバックアップしてもらえばありがたい。

学校側の予算:学校側が限られた予算のなか補助教材に使える経費を捻出するのは大変である。起業家教育を普及するためには、経費の面での補助も検討すべきである。生徒主体の授業の実現:生徒が自ら考え行動するための生徒主体の授業を実施するにあたって、教材を開発するだけでなく、教員への研修の充実も重要な課題である。行政の継続的な支援:欧米でも、起業家教育のプログラムを開発・普及している組織は、行政機関か財団法人が多い。本気で起業家精神をもった人材を育成するなら、行政からの継続的な支援は不可欠である。

行政・企業・地域社会による支援の状況

当教材は、経済産業省の委託事業である平成 11 年度「起業家精神涵養教材等開発普及事業」の一環として開発されたもので、その後の普及を京都リサーチパーク(株)が行っている。

照会先

京都リサーチパーク(株)企画部開発室マネジャー 起業家教育センター プロジェクトマネージャー 原田 紀久子氏

- ・〒600-8813 京都府京都市下京区中堂寺南町 17
- TEL:075-315-9103 FAX:075-315-9134

照会先は以下に変更しています。 特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センター 京都市下京区中堂寺粟田町 93

TEL: 075-315-9103 FAX: 075-315-9134

プロジェクトマネージャー兼事 務局長 原田紀久子氏

(資料)起業家教育センターヒアリング

京都リサーチパーク(株)ホームページ http://www.krp.co.jp/

京都リサーチパーク(株)「『平成 11 年度通商産業省委託事業 アントレの木』教材案内」、京都 リサーチパーク(株)「KRP PRESS」No.56 2000年5月号

「京都大学付属京都中、中学校で起業家教育 - 総合学習の時間活用」『日本経済新聞』 (2000 年3月18日地方経済面)